

事務所が所在する揖斐川町でも連日の猛暑となっています。毎年夏恒例の「キャンプ砂防in越美」を今年度も開催しました。今年のテーマ「揖斐川上流域の砂防を体験しよう」に沿って、参加した学生は猛暑にも負けず、カリキュラムに取り組んでいました。

### キャンプ砂防 in 越美を開催

越美山系砂防事務所では、毎年夏にキャンプ砂防を開催しています。キャンプ砂防は、砂防を専攻又は関心を持つ大学院生や大学生を対象に、砂防の意義・役割を体験的に学ぶことにより、砂防に対する認識を深め、重要性を理解する事を目的としています。今年度は北海道大学の柳井さん、広島大学の赤崎さんの2名が参加され、8月19日～23日にかけて実施しました。参加者は座学で、砂防事業の意義、砂防堰堤の完成までの流れ、深層崩壊等について学び、現場見学では、コンサルタントや施工業者の技術者より、現場の苦労話などを聴かせていただきました。

山の谷第1砂防堰堤を利用して行われている「サイフォン式排水装置」を利用した小水力発電等の実験の見学や、大井谷第1砂防堰堤流木対策工事の現場では、技術者の協力のもと、測量実習や丁張の設置作業に挑戦しました。また、揖斐川上流域の人々の暮らしや文化を知るために、徳山会館中村副館長から貴重なお話を伺い、最終日には宗宮揖斐川町長を訪問し、多雨豪雪地域、急峻な地形、脆弱な地質が散見されることから、砂防事業が重要であるとお話を伺いました。

参加者からは「現場を知ること、砂防学研究の意味や意義が明確になった」「今後へ非常に役に立つ経験をした」などの感想や、「事務所職員の対応が丁寧で、かつ熱意を感じた」という感謝の言葉をいただきました。



小水力発電の実験



丁張の設置に挑戦



揖斐川町長訪問の様様

### 淡墨桜の里にオカリナの音色

8月17日、本巣市根尾板所(いたしよ)の淡墨公園にて「うすすみサマーフェスティバル2013 宗次郎淡墨桜コンサート」が行われました。根尾中学生によるオカリナ演奏等の後、宗次郎さんが全15曲(うち3曲は根尾中学生との共演)のオカリナ演奏を行ないました。

樹齢1500年以上の淡墨桜をバックに奏でられる澄んだ音色に、聴衆からは大きな拍手が送られていました。



根尾中学生によるオカリナ演奏の様様

### 学習会や見学会 承ります

8月22日に揖斐川町役場で行われた揖斐川町校長会において、河野副所長が当事務所の事業内容や広報活動の取り組みについて紹介し、職員が学校等に出向き砂防や防災の分野について説明する出前講師の派遣や、小中学生を対象とした学習会・現場見学会等の受け入れ実績等を説明し、総合的な学習の時間等で、さらに当事務所を利用していただけるようにお願いしました。



校長会での説明の様様

### 猛暑のなか境界杭を確認

8月16日に揖斐川町榎原(かしばら)地先において、用地境界杭の確認作業を行いました。境界杭打設から時間が経過したため、猛暑のなか、用地担当職員が急勾配の山中を上り下りし、玉のような汗をかきながら約6時間かけて境界杭の欠損状況等を確認し、取得範囲を再明示を行いました。

手の甲に違和感を覚えふと見るとヤマビルが付着しており、慌てて振り払うなど、とても辛い作業となりました。



境界杭再確認作業の様様

### 河道の安定化へ =ドン谷=

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかも)地先のドン谷において、河道の安定化を図るために、溪流保全工の今年度工事に着手します。ドン谷は諸家(もろか)集落内を流れる溪流で、土石流が発生する危険があるため、谷の出口付近に砂防堰堤を設置して土石流を捕捉し、その下流の流路の安定化を図るために溪流保全工を建設しています。工事は平成22年度から行われており、今年度の工事で完了する予定です。施工は西建産業(株) 行いま



今年度の施工箇所



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所

〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3

Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626

E-mail: [ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp](mailto:ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp)